

ふるやと探訪

県指定天然記念物（地質鉱物）

梁川町産パレオパラドキシア化石

所在地 会津若松市城東町一一番二五号

所有者 福島県立博物館

県指定天然記念物（植物） 達沢大山祇神社社叢

所在地 猪苗代町大字蚕養字大達沢
所有者 猪苗代町吾妻財産区



昭和五十九年（一九八四）八月に発見、発掘されたパレオパラドキシア（古代の謎の動物）の骨格化石は、体長約二メートルで、伊達郡梁川町字上川原地内の広瀬川河床に露出する新第三紀中新世中期初め（約一六〇〇万年前）の広瀬川砂岩部層（梁川層の最下位の部層）から産したものです。

骨格化石は、頭蓋骨・下顎・骨・頸椎・肋骨・脊椎・胸椎・腰椎・尾椎・骨盤・大腿骨などのほか、二三点の歯化石もみいだされており、前足と後足のスネより先の部分を欠くだけで、よく保存されています。

この化石は、骨格がほぼ完全に残っているものとして、世界で五体目という大変貴重なものです。

この林の優占種はコナラとミズナラで、いずれも目通り幹周二・五メートル以上、樹高は二〇メートルを越す大木です。その他、アカマツの大木や、トチノキ、ハリギリ、ミズメ、イタカラエデ、コメツガなどもみられ、この社叢は、わが国の森林帯についての論議には欠かせない、学術上貴重な自然林です。

